

# 学位申請の手引き



福島県立医科大学大学院医学研究科

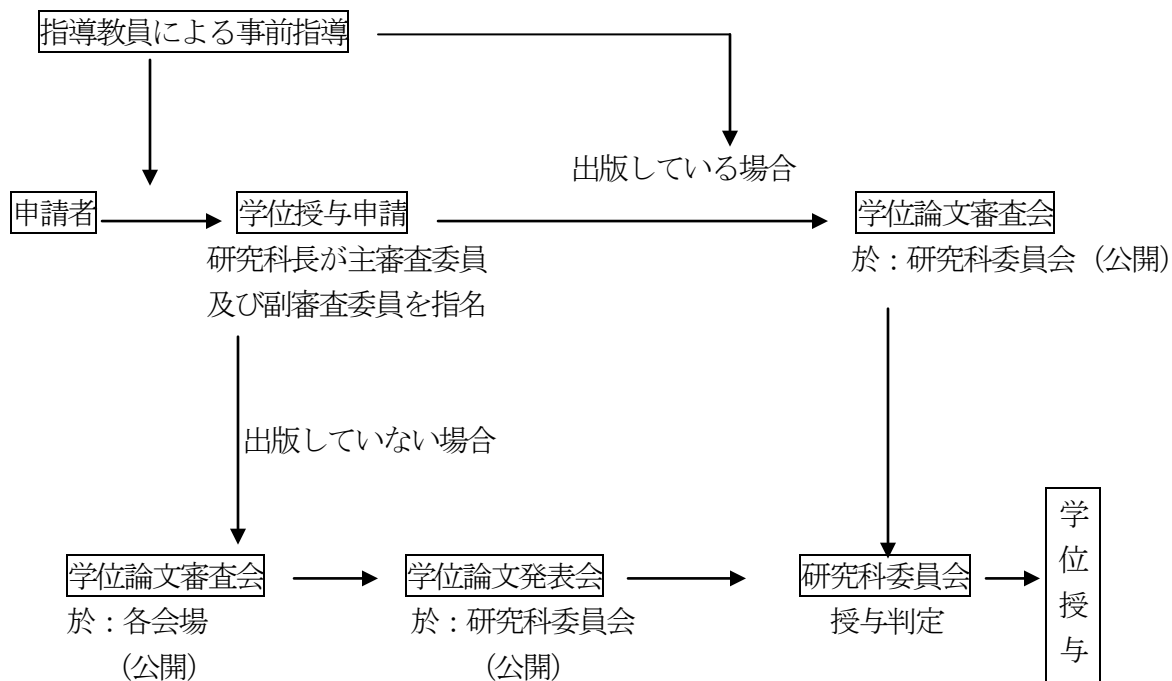
平成24年3月改正版

# I 博士課程修了予定者の学位授与申請手続

大学院医学研究科（以下「本研究科」という。）博士課程を修了するためには、本研究科に4年以上（ただし、優れた研究業績を上げた者については3年以上）在学し、所定の単位を修得したうえで学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。（大学院学則第13条第3項）  
本研究科学生で、次の要件を満たす者は学位を申請することができる。

- ① 本研究科に3年以上在学し、修了までに所定の単位を修得し得る者  
ただし、優れた研究業績を上げた者については、本研究科に2年6か月以上在学し、3年修了までに所定の単位を修得し得る者
- ② 本研究科に4年以上在学して、所定の単位を修得し、引き続き在学中（再入学者を含む。）の者

## <学位論文提出から学位記授与まで>



※学位授与申請は、通年受付しております。

申請時期により、学位は9月と3月に授与されます。

それぞれの学位授与の申請締切日程は、その都度通知されます。

## 1. 学位論文審査申請

学位を取得する者は、本研究科長に学位論文を提出し、審査を受けることができる。該当者は、次の事項に留意のうえ手続きをとること。

### (1) 申請の時期

随時（9月授与の場合5月・6月、3月授与の場合11月を提出期限予定としているが、早まることもあるので期限については事前に確認のこと。）

### (2) 申請先

主指導教員を経て本研究科長あて提出すること。学生課で受け付ける。

なお、受付の際提出書類をチェックし、不備があればその場で補正等を願うので必ず本人が持参すること。

### (3) 提出書類

申請に必要な書類は次のとおりである。なお、所定様式については、手引きの様式を参照。

なお、提出書類の氏名は、戸籍と同じ書体とすること。

#### ① 学位審査申請書（様式参照）【1部】

※氏名は戸籍に記載のあるものと同じ書体（旧字体等）とすること。

#### ② 学位論文【5部】

ア. 学位論文は本学からの学術出版物としてふさわしい新規性を持つこと。

イ. 学位論文は本学からの出版物にふさわしい内容と体裁を持ち（記入例参照のこと）、申請者が大学院博士課程の間に行った研究内容が、主指導教員による指導のもとで記述されていること。

ウ. 提出できる学位論文は、申請書を筆頭者として、日本医学会分科会の機関誌又はMedline掲載の英文雑誌に掲載された、あるいは1年以内に掲載される予定の原著論文の内容を主として作成されたものでなければならない。

#### ③ 参考論文【5部】

・申請者が関わった研究成果としての出版物などを指す。課程博士の場合、必須ではない。

#### ④ 履歴書【5部】

・記載例を参照すること。

#### ⑤ 論文目録【5部】

・申請者が学術雑誌・書籍に出版したすべての論文リストのこと。リストには著者名、論文名、雑誌（書籍）名、巻数、号数、ページ数、出版年を必ず明記すること。

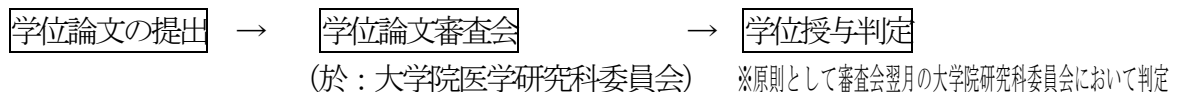
- ⑥ 論文内容要旨【5部】
  - ・1, 200字以内でまとめること。
- ⑦ 戸籍抄本【1部】
  - ・申請1ヶ月以内に発行されたもの。
- ⑧ 学位論文の内容となる学術雑誌に掲載された、あるいはされる予定の共著者全員の同意書【各1部】
- ⑨ 参考資料（手引きの様式参照）【5部】
  - ・学位論文審査委員候補者名簿登載の教員の中から希望する審査委員候補者5名を記入すること。ただし、そのうち1名以上は教授から選択すること。なお、主・副指導教員、主指導教員及び申請者の属する講座等の教員、共同研究者、又は申請者の親族は、主審査委員および副審査委員になることができない。
  - ・学術雑誌への投稿がまだ完了していない場合は、本学専任教員以外の審査委員(学外審査委員と呼ぶ)を1名申請すること。学外審査委員は、博士号を有し、提出する論文について見識が深く、公平な審査を行うことができる学識経験者を選定することとし、医学研究科委員長が承認する。

(4) 学位論文審査会および学位論文発表会の方法

学位審査の申請に応じ、医学研究科長が主審査委員1名及び副審査委員2名を指名する。

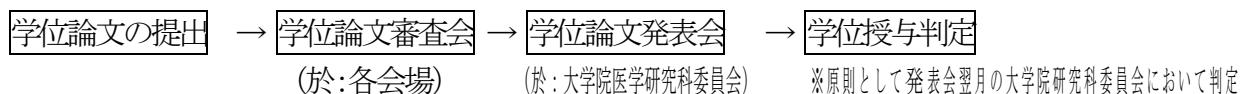
学位論文内容を出版している場合には、本研究科長から学位論文審査会の開催日時・場所等が申請者に通知される。申請者は、学位論文について研究発表を行い(10分間)、それに対して主査と2名の副査を中心とした質疑応答が行われる(10分間程度)。

【学位論文の内容を出版している場合】



学位論文内容を出版していない場合には、主審査委員から学位論文審査会の開催日時・場所等が、申請者に通知される。申請者は主査と2名の副査により、公開の学位論文審査会において、学位論文の研究発表と質疑応答を行う。学位論文審査会終了後は、本研究科長から学位論文発表会の開催日時・場所等が申請者に通知され、申請者は、学位論文について7分間の研究発表を行う。必要に応じて質疑応答を行う。

【学位論文の内容を出版していない場合】



いずれの場合も、審査会において指摘を受けた内容について主査の指示に従って修正を行い、審査員全員の合意を持って終了とする。

なお、学位論文審査会開催日時・場所は、申請者の氏名・学位論文題名と共に本大学院公式ホームページ上で公示される。なお、提出された学位申請論文に不備がある場合は、この限りではない。

## 2. 学位授与（博士課程修了）

論文審査委員による審査の結果は、主審査委員により取りまとめられて、審査結果と合否判断が本研究科長に報告され、合格判断が下された場合、本研究科委員会において学位授与（博士課程の修了）の議決が行われる。なお、審査結果は、学位論文と共に、一般に公開される。

学位授与が可決された場合は、本研究科長が学長に報告し、その報告に基づき学位が授与される。これに伴い学位授与式（3月期の場合は、大学院修了式とし、学部卒業式と同時に行う。）が行われ、学長から学位記が授与される。また、本学大学院公式ホームページ上で公示される。

なお、申請者が、審査結果に納得できない場合には、異議を唱えることができる。この不服申し立ては、学生課において行い、学生課では、この申し立て受理後速やかに研究科長に報告し、研究科長の指名により不服申し立て審査会を開催することとする。

## 3. 学位論文の印刷公表

学位を授与された者は、学位論文に含まれる主な内容が学術雑誌・書籍に未掲載の場合には、授与された日から1年以内にその論文を印刷公表（書籍又は学術雑誌等への公表）しなければならない。なお、公表した場合、別刷りとともにその旨を学生課に届けなければならない。本学大学院公式ホームページでは、これら学術雑誌に掲載された原著論文のリストを本学大学院公式ホームページ上で、大学院での成果として公示する。

## 4. 大学院在学3年での修了要件

福島県立医科大学学位規程第3条第1項ただし書き中「優れた研究業績を上げた者」とは下記の条件を全て満たすものとする。

- 1 専攻する主指導教員および副指導教員の推薦があること。
- 2 言語の種類は問わないが、筆頭著者である論文が申請時に学術雑誌に受理されている原著論文が1編以上あること。なお、大学院在学以前に発表された論文でも、研究テーマに関連した論文であれば含めることができる。
- 3 筆頭著者として出版した論文を掲載した雑誌は、査読を有する、当該分野において国際的に一定の信頼を得ている学術雑誌であること。

## II 論文博士の学位授与申請手続

本学大学院修了予定者以外の者で、本研究科に論文を提出し、博士の学位を取得しようとする場合、学位授与の時期から遡って1年間は継続して本学に籍を有することに加え、次の要件のいずれかを満たしていなければならない。

- ① 大学において、医学の課程を修了した者で、基礎医学5年以上、臨床医学6年以上の研究歴を有する者、ただし、その両方にまたがる場合は、通算して5年6か月以上の研究歴を有する者
- ② 医師法第16条の2第1項に基づく臨床研修を行った者は、臨床医学において5年以上の研究歴を有する者（ただし、「臨床研修」の期間は平成7年4月から行う者から適用する。）
- ③ 専門学校において、医学の課程を修了した者で、前述①の各期間にそれぞれ2年を加えた研究歴を有する者
- ④ 医学の課程を経ない者については、次のいずれかに該当する医学研究歴を有し、かつ本研究科委員会の承認を得た者

ア 大学（歯学部・薬学部6年制・獣医学部6年制）卒業者 基礎・・・5年以上  
臨床・・・7年以上

イ 大学院博士課程修了者・・・5年以上

ウ 大学院修士課程修了者・・・8年以上

エ 大学卒業者・・・10年以上

オ 専門学校及び短期大学卒業者・・・13年以上

カ アからオのいずれにも該当しない者・・・16年以上

（注）学位授与月末日までに医学研究歴の年数を満たされる者も申請できる。

### 医学研究歴

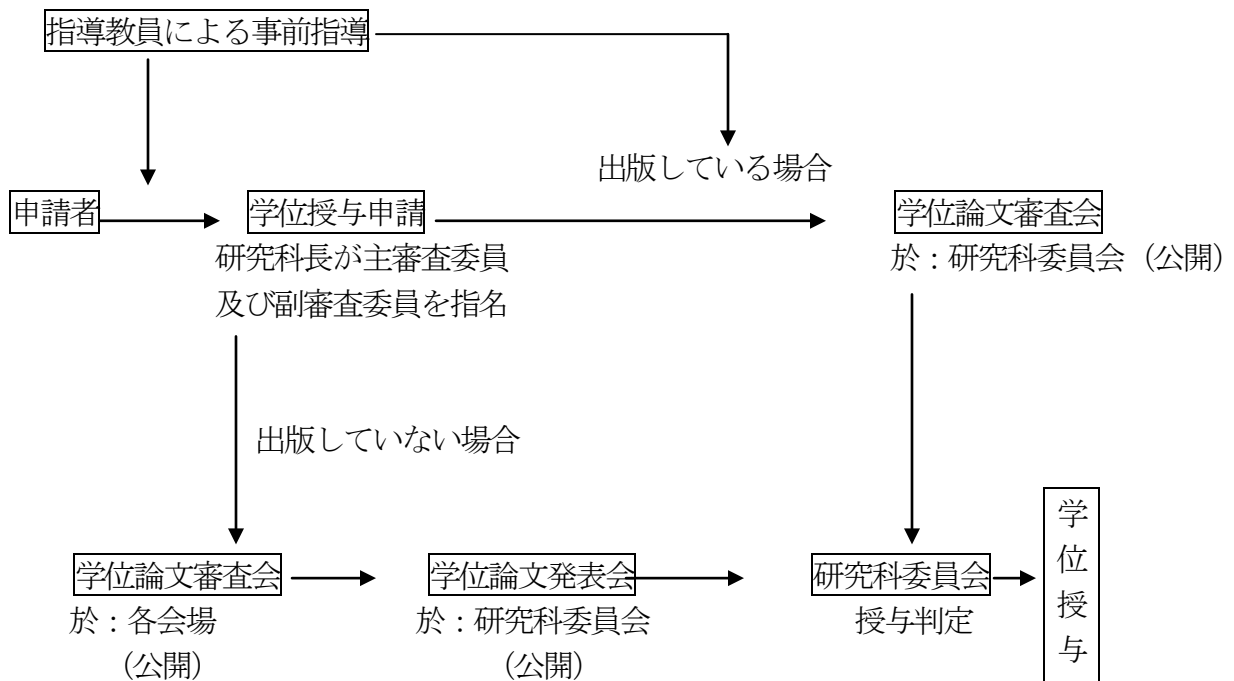
医学研究歴は、次のいずれかに該当するものとするが、疑義のある場合には学生課に相談のこと。

- ① 大学の専任職員として研究に従事した期間（本学副手の期間を含む。）

副手は医師国家試験合格通知日からとなっているので、助手等に関しては総務課人事担当に、副手に関しては病院経営課に問い合わせ、正式発令日以降とすること。

- ② 大学院に在学した期間
- ③ 専攻科（研究生、専攻生等も含む。）に在学した期間
- ④ 大学の教授、准教授、助教授又は講師の経歴のある者が指導者である病院又は研究所において専任職員として研究に従事し、かつ、本学研究科委員会が適当と認めた期間
- ⑤ 本研究科委員会が前各項と同等以上と認める機関において研究に従事した期間

## ＜学位論文提出から学位記授与まで＞



※学位授与申請は、通年受付しております。

申請時期により、学位は9月と3月に授与されます。

それぞれの学位授与の申請締切日程は、その都度通知されます。

### 1. 外国語試験

外国語試験は、学位授与申請者に対する学識認定のために行うものであり、学位論文審査を申請する以前に、この試験を受験し、合格していなければならない。

試験は、毎年9月頃に実施されるが申請の前年までに合格しておくことが望ましい。

(1) 出願受付期間

8月上旬から8月中旬頃

(2) 出願手続

出願者は、次に掲げる書類を学生課に提出すること。

① 外国語試験受験願書（様式参照）1部

② 返信用封筒（表に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、切手（普通料金）を貼付したもの（20.5cm×9cm）、学内者は不要。） 1通

### (3) 試験方法等

期 日	科 目	方 法	場 所
9 月 頃	英 語	筆 答	本 学 内

(注) 日時及び場所の詳細については、公示し各講座等に通知する。

### (4) 外国語試験成績証明書

学長は、申請者から外国語試験成績証明書（所定様式参照）の請求があったときは、これを交付する。

## 2 学位論文審査申請

本研究科に論文を提出し、博士の学位を取得しようとする者は、次の事項に留意のうえ手続きをとること。

#### (1) 申請の時期

随 時（9月授与の場合5月・6月、3月授与の場合11月を提出期限予定としているが、早めることもあるので期限については事前に確認のこと。）

#### (2) 申請先

本研究科長あて提出すること。（学生課で受付ける。）受付の際に提出書類をチェックし、不備があればその場で補正等を願うので必ず本人が持参すること。

#### (3) 提出書類

申請に必要な書類は次のとおりである。なお、所定様式については、手引きの様式参照。なお、提出書類の氏名は、戸籍と同じ書体とすること。

##### ① 学位論文申請書【1部】

※氏名は戸籍に記載のあるものと同じ書体（旧字体等）とすること。

##### ② 学位論文【5部】

ア 学位論文は本学からの学術出版物としてふさわしい新規性を持つこと。

イ 学位論文は本学からの出版物にふさわしい内容と体裁を持ち（記入例参照のこと）、申請者が大学院博士課程の間に行った研究内容が、主指導教員による指導のもとで記述されていること。

#### **平成16年3月31日以前に研究生又は教員であったもの**

提出できる学位論文は、日本医学会分科会の機関誌又はMedline掲載の英文雑誌に掲載された、あるいは掲載される予定の原著論文に基づいて作成されたものでなければならない。

**平成16年4月1日以降に研究生、教員又は病院助手になったもの**

提出できる学位論文の内容は、日本医学会分科会の機関誌又はMedline掲載の英文雑誌に既に掲載された原著論文に基づいて作成されたものでなければならない。なお出版された論文が提出する学位論文の内容に関連性がないことは認められない。

③参考論文【5部】

- ・申請者が関わった研究成果としての出版物など

④履歴書【5部】

- ・記載例を参照すること。

⑤論文目録【5部】

- ・申請者が学術雑誌・書籍に出版したすべての論文リストのこと。リストには著者名、論文名、雑誌(書籍)名、巻数、号数、ページ数、出版年を必ず明記すること。

⑥論文内容要旨【5部】

- ・A4判の用紙を用い、1, 200字以内にまとめたもの。

⑦戸籍抄本【1部】

- ・申請1ヶ月以内に発行されたもの。

⑧最終学校の卒業証明書又は卒業証書の写し【1部】

(大学院修了者は修了証明書又は学位記の写し【1部】)

⑨研究歴証明書【1部】

⑩同意書【各1部】

- ・学位論文の主内容となる学術雑誌に掲載された共著者全員の同意書(平成16年3月31日以降に研究生であったものについて)、または平成16年3月31日以前に研究生であったものについて1年以内に出版する予定のものについては、その論文の共著者となる予定全員の同意書

⑪参考資料(手引きの様式参照)【5部】

- ・学位論文審査委員候補者名簿登載の教員の中から希望する審査委員候補者5名を記入すること。ただし、そのうち1名以上は教授から選択すること。なお、主・副指導教員、主指導教員及び申請者の属する講座等の教員、共同研究者、又は申請者の親族は、主審査委員および副審査委員になることができない。

- ・平成16年3月31日以前に研究生であったものについて、学術雑誌への投稿がまだ完了していない場合は、本学専任教員以外の審査委員(学外審査委員と呼ぶ)を1名申請すること。学外審査委員は、博士号を有し、提出する論文について見識が深く、公平な審査を行うことができる学識経験者を選定することとし、医学研究科委員長が承認する。

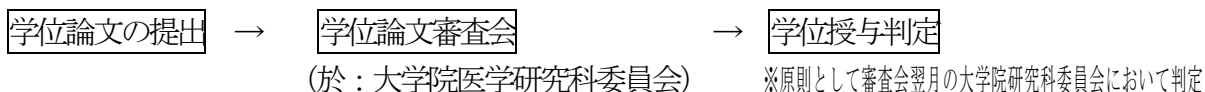
※本学の卒業生であって、その医学研究歴が本学に限られる者については、⑧、⑨は必要がない。

### 3. 学位論文審査会および学位論文発表会の方法

学位審査の申請に応じ、医学研究科長が主審査委員1名及び副審査委員2名を指名する。

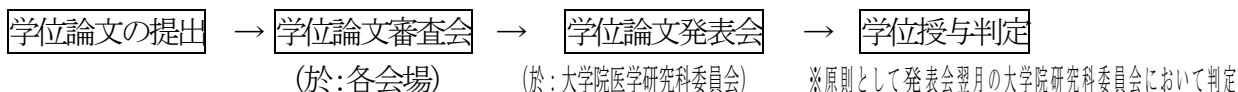
学位論文内容を出版している場合には、本研究科長から学位論文審査会の開催日時・場所等が申請者に通知される。申請者は、学位論文について研究発表を行い（10分間）、それに対して主査と2名の副査を中心とした質疑応答が行われる（10分間程度）。

【学位論文の内容を出版している場合】



学位論文内容を出版していない場合には、主審査委員から学位論文審査会の開催日時・場所等が、申請者に通知される。申請者は主査と2名の副査により、公開の学位論文審査会において、学位論文の研究発表と質疑応答を行う。学位論文審査会終了後は、本研究科長から学位論文発表会の開催日時・場所等が申請者に通知され、申請者は、学位論文について7分間の研究発表を行う。必要に応じて質疑応答を行う。

【学位論文の内容を出版していない場合】



いずれの場合も、審査会において指摘を受けた内容について主査の指示に従って修正を行い、審査員全員の合意を持って終了とする。

なお、学位論文審査会開催日時・場所は、申請者の氏名・学位論文題名と共に本大学院公式ホームページ上で公示される。なお、提出された学位申請論文に不備がある場合は、この限りではない。

### 4 学位授与

審査の結果は、主審査委員により取りまとめられて審査結果と合否判断が本研究科長に報告され、合格判断が下された場合、本研究科委員会において学位授与（博士課程の修了）の議決が行われる。学位授与が可決された場合は、本研究科長が学長に報告し、その報告に基づき学位が授与される。これに伴い学位授与式（3月期の場合は、大学院修了式とし、学部卒業式と同時に行う。）が行われ、学長から学位証が授与される。

また、本学大学院公式ホームページ上で公示される。なお、審査結果は、学位論文と共に、一般に公開される。

なお、申請者が、審査結果に納得できない場合には、異議を唱えることができる。この不服申し立ては、学生課において行い、学生課では、この申し立て受理後速やかに研究科長に報告し、研究科長の指名により不服申し立て審査会を開催することとする。

## 5 学位論文の印刷公表

平成16年3月31日以前に研究生であったもののうち、学位を授与された時点でも学術雑誌・書籍への論文発表を行っていない者は、授与された日から1年以内にその論文を印刷公表（書籍又は学術雑誌等への公表）しなければならない。なお、公表した場合、別刷りとともにその旨を学生課届けなければならない。本学大学院公式ホームページでは、これら学術雑誌に掲載された原著論文のリストを、大学院での成果として公示する。

### Ⅲ 論文作成及び提出書類記入上の注意事項

#### 1 学位論文申請書

本学所定様式を使用し、氏名は戸籍の書体を記載すること。

#### 2 学位論文

学位論文は本人の学習・研究成果としての本学出版物であることに留意し、研究内容にふさわしいスタイルで書かれるよう、学位論文作成の前に、指導教員とよく話し合うこと。論文は、英語（「概要」を除く）または日本語で書かれるものとする。申請に提出する学位論文の冊子（5部）は、簡易にファイルしたもので可とするが、最終的に提出された学位論文は、国会図書館・本学学術情報センターで閲覧されることになるので、長期の保存に耐えられるようなものを作成すること。

学位論文で一般的に書かれる項目の例とその注意事項は以下の通り。筆頭著者としての論文がまだ出版されていない場合には、投稿予定の雑誌の書式に沿うように記述することも可能である。なお、学位論文がいくつかの内容に分割できる場合には、これらの項目を章ごとに分けて書くこともできる。

〈項目例〉

**表題(title)：** 研究の内容を具体的かつ簡潔に示すものとし、英語で書かれた学位論文の場合には、表題の下に（ ）書で日本語訳を付記すること。なお、表題の中では略語は、医学においてごく一般的に使用されているようなものを除き、使用しないこと。副題を付けることは差し支えない。

**所属・著者名(name)：** 所属する医学研究科の分野名（課程博士の場合）、あるいは講座・部門名（論文博士）を記すること。氏名は戸籍抄本と一致させること。日本国籍を有さないものは、外国人登録証または外国人登録原票記載証書と一致させること。

**概要：** 学位論文全体の内容が、研究に至った背景を含めて、専門分野外の人間にも理解できるように要約されて、日本語で記されていること。別途提出する「論文内容要旨」とは異なり、長さの制約はない。

**目次(content)：** 全体の構成を分かり易くするために目次をつけることもできる。

**略語(abbreviation)：** その分野では一般に用いられるものであっても、医学の他分野で普通に使用されているもの以外はすべて記すること。

**序論(introduction) :** 研究に至った背景、そしてこれまでどのような点が不明であり、それをどのような方法で明らかにすることを目的としたかについて、専門分野外の人間にも容易に理解できるように記述すること。研究背景を簡潔に説明する図表の使用はしばしば理解の助けになる。

**方法 (materials and methods/procedures) :** 本論文に記された研究に用いられたすべての実験、フィールドワークなどにおける方法や条件、および材料・リソースの詳細について、具体的に記述する。ここに書かれた説明を他の研究者が読めば同じ実験を再現できるように書くことが原則である。該当する場合は、動物実験委員会、倫理委員会の承認について明記すること。なお、理解を助けるものであれば図表も用いることができる。

**結果(results) :** 研究によって得られた結果について、どの点が特に新規かが明確になるように、詳細に記述すること。なお、学位論文は基本的に学習成果のとりまとめなので、主成果にいたるまでの過程で得られた予備的なデータも記述することができる。また長さの制約はないので、本文で述べられたデータは省略することなくすべてのデータを掲載することが望ましい。

**考察(discussion) :** 研究結果の解釈を主体として、これまでの当該分野の研究に対して、新たに得られた研究成果の位置づけを行い、今後の展望・可能性について記述する。得られた知見・概念を明確に伝えるために図表を用いることもできる。

**引用文献(references) :** それぞれの分野で一般的に用いられるスタイルを使用できるが、筆者名、年号、雑誌名、巻数、ページ番号に加えて、論文の題名も入れることが望ましい。

**図説明(figure legends) :** 研究結果の図の説明として、行った実験条件が可能な限り詳細に記述されていること。概念図の場合は、その意味について説明すること。なお、他の出版物から引用する場合には著作権に留意すること。これらは、必ずしも図と切り離れた場所（引用文献の後ろなど）にまとめて置く必要はなく、速やかな審査のために、該当する図の下に直接挿入することもできる。

**図(figures)および表(tables) :** 図表は引用文献の後ろにまとめて置かれることが多いが、審査を容易にするために、本文中の該当する箇所（たとえば図1であれば、「結果」の図1と書かれたパラグラフの直後など）に置くこともできる。また、特に写真の場合には、結果で述べられていることが明瞭に読み取れるような高い品質の印刷にすること。なお、表の説明文は、表の上に記述すること。

**謝辞等(acknowledgment)：** 学位論文研究を行うにあたり、共同で作業したり指導を行った人に対して、あるいは、研究費の補助を得ている場合には、その旨を明記し、謝辞とすること。また、必要な場合には、本研究が適切な利益相反マネジメントのもとで行われたものであり、利益相反委員会の承認を得ていることを明記すること。

### 3 参考論文

- (1) 論文博士の場合、参考論文は、次の全てに該当する論文3編以上を提出するものとし、論文目録に記載した順に綴じ、表紙を付け確実に製本すること。
  - ① 申請者が、執筆又は共同研究したもの
  - ② 学位論文と関連があり、学位論文を補足するもの
  - ③ 学位論文作成に至るまでの研究経緯がわかるもの
  - ④ 研究期間中の研究を、その都度まとめて公表したもの
- (2) 表紙右上に参考論文と表示し、下部に申請者名を記載すること。

### 4 戸籍抄本

申請前1か月以内に発行されたもの。

### 5 履歴書（所定様式）

- (1) 記載例を参照すること。
- (2) 学歴は高校卒業以降について、年次を追って記載すること。  
(大学は、学部、学科名を記載すること。)
- (3) 研究歴は、「医学研究歴」の各号に該当するものについて記載すること。  
(医師免許証の取得年月日、番号を記載すること。)
- (4) 異動の年月日については、副手等については病院経営課で確認のうえ、正確に記入すること。（助手については総務課）

### 6 論文目録（所定様式）

- (1) 記載例を参照すること。
- (2) 論文題名（学位論文・参考論文）が外国語の場合には、和訳を附記すること。
- (3) 公表の方法欄は、共著者名（本人を含む。）、公表誌名、公表年月日のほか、巻番号、ページも記載すること。また、未公表の場合は、公表の予定を記入すること。

## 7 論文内容要旨（所定書式）

- (1) 要旨は、1, 200字以内にまとめること。
- (2) 要旨は、本論文の概要がつかめるよう研究内容を要約すること。
- (3) 内容要旨（その3）に記入する場合、1字1枠とし、「・」及び「、」も1枠として記入すること。（原稿用紙使用の場合）
- (4) 日本語で記載すること。
- (5) 図表及び写真は挿入しないこと。

## 8 研究歴証明書

- (1) 履歴書の研究歴欄の記載事項と、一致させること。
- (2) 研究歴は次の期日まで計算すること。  
申請書の提出月から最も近い学位授与月（9月30日、3月31日）までの期間
- (3) 月の途中で研究歴が開始又は終了した場合は、1か月として計算すること。
- (4) 医学研究歴が本学だけに限られる場合は提出する必要がある。
- (5) 研究指導者は、大学の教授、准教授又は講師の経歴を有するものであること。

## 9 その他

- (1) 学位審査料（論文博士） 200,000円  
学生課から指定の払込取扱票を受領し、郵便局から納入後、払込受付証明書を申請書に添付する。  
ただし、本医学研究科修了予定者が申請する場合又は単位修得者が退学後1年以内に申請する場合は免除する。
- (2) 学位申請の論文は福島医学会において、その要旨を発表すること。
- (3) 申請先・問合せ先は学生課とする。  
福島県立医科大学 学生課医学部教務係（大学院担当）  
〒960-1295 福島市光が丘1  
電話：024-547-1095、FAX：024-547-1989、E-mail：gakuseik@fmu.ac.jp

(課程博士)

年 月 日

福島県立医科大学長 様

現住所

氏 名

印

博士の学位授与について（申請）

学位規程第4条第1項の規定に基づき、下記書類を添え、博士（医学）の学位の授与を申請いたします。

記

- |   |                      |              |
|---|----------------------|--------------|
| 1 | 学 位 論 文<br>(ほかに参考論文) | 5 部<br>(5 部) |
| 2 | 履 歴 書                | 5 部          |
| 3 | 論 文 目 録              | 5 部          |
| 4 | 論 文 内 容 要 旨          | 5 部          |
| 5 | 参 考 資 料              | 5 部          |
| 6 | 戸 籍 抄 本              | 1 部          |
| 7 | 研究協力者の同意書            | 各1部          |

研究協力者：学位論文の主たる内容が学術雑誌に掲載された論文、あるいは掲載される予定の論文の共著者全員

(論文博士)

年 月 日

福島県立医科大学長 様

現住所

氏 名

印

博士の学位授与について（申請）

学位規程第4条第2項の規定に基づき、下記書類に学位審査料 200,000 円を添え、博士（医学）の学位の授与を申請いたします。

記

1	学 位 論 文 (ほかに参考論文)	5 部 (5 部)
2	履 歴 書	5 部
3	論 文 目 録	5 部
4	論 文 内 容 要 旨	5 部
5	参 考 資 料	5 部
6	戸 籍 抄 本	1 部
7	卒 業 証 明 書	1 部
8	研 究 歴 証 明 書	1 部
9	研究協力者の同意書	各 1 部

研究協力者：学位論文の主たる内容が学術雑誌に掲載された論文の共著者全員

(記載例)

## 履 歴 書

ふりがな 氏 名	ふく しま こう いち 福 島 光 一 ※戸籍と同じ書体	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	昭和 43年 7月 20日	
本 籍	福島県	
現 住 所	福島市光が丘1	
<b>学 歴</b> 昭和 年3月 福島県立福島高等学校卒業 昭和 年4月 福島県立医科大学医学部医学科入学 平成 年3月 同 校 卒 業 平成 年 月 福島県立医科大学大学院医学研究科 専攻入学 現在に至る		
<b>研 究 歴</b> 平成 年5月 日 福島県立医科大学内科学第1講座副手 平成 年5月 日 医師免許証取得、登録番号第 号 平成 年4月1日 福島県立医科大学内科学第1講座研究生 平成 年4月1日 福島県立医科大学内科学第1講座大学院研究生 平成 年 月 日 福島県立医科大学内科学第1講座助手 現在に至る		
<b>職 歴</b> 平成 6年5月 福島県立医科大学内科学第1講座副手 平成 8年4月 ○○○○病院 内科勤務 平成11年1月 福島県立医科大学内科学第1講座助手 現在に至る		
<p>(注) 学歴及び職歴はその事項の年月まで記載し、研究歴については年月日まで記載する。 研究歴の副手に関しては病院経営課、助手に関しては総務課 大学人事担当に問い合わせ、確認のうえ記入すること。</p>		

# 論文目録

氏名	
<p>学位論文 題名 論文題名が外国語の場合には和訳を附記すること。</p> <p>公表の方法 (公表誌名、公表年月日 (未公表の場合は予定) 巻番号、ページを記載すること。)</p> <hr/> <p>参考論文 題名</p> <p>公表の方法 (本人及び共著者名、公表誌名、公表年月日、巻番号、ページを記載すること。)</p>	

# 論文内容要旨

しめい 氏名	
学位論文題名	

※日本語で記載すること。1200字以内にまとめること。

## 参 考 資 料

ふりがな 氏 名	※戸籍と同じ書体	男 女
最 終 学 歴	年度卒業・修了	
外国語試験合格日	年 月 日 (大学院生は不要)	
倫理委員会承認	承認年月日 年 月 日 受付番号 _____	
	※ 倫理委員会の審査の対象となる研究の場合は、承認を受けた日、受付番号を記載すること。	
所 属		
電話番号		
E-mail		

指導教員	印		
(学位論文題名)			
希望する学位論文審査委員の所属名、職名、氏名			
	所属名	職名	氏名
1			
2			
3			
4			
5			

◇研究歴（        年） 研究歴に換算されないものは年数に含めないこと。

---

---

---

研究歴については学位論文申請の際添付する履歴書の記載例参照。

◇現在まで公表した論文があれば以下に記載すること  
（公表論文題名、公表誌名、公表年月日、巻番号、ページ）

◇申請する論文が、査読制度が確立している日本医学会分科会の機関誌又は Med Line・Pub Med 掲載の英文誌に発表されている場合は、下記にその掲載誌の名称を記載すること。未発表の論文を申請する場合は、学外の評価者を依頼するので、申請論文に関連の深い分野の学識者を下記に記載すること。

申請論文の公表の有無について	有	無
掲載誌の名称		
学外へ依頼する評価者の所属、職、氏名、メールアドレス		
職名		氏名
所属		
所在地	〒	
電話番号	(            ) -            -	
E-mail		

# 研究歴証明書 (学内用)

学位論文提出者氏名 \_\_\_\_\_

年 月 日	身分 (研究機関名)	期 間
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
合 計		年 月

学位論文提出者 \_\_\_\_\_ に関する研究歴は、上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

指導教員 \_\_\_\_\_ 印

# 研究歴証明書 (学外用)

学位論文提出者氏名 \_\_\_\_\_

研究機関名			
身分			
研究期間	年 月 日～ 年 月 日		
研究内容			
研究指導者 ※在職証明書を添付すること	所 属	職 名	氏 名

学位論文提出者 \_\_\_\_\_ に関する研究歴は、上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

研究機関長の氏名 \_\_\_\_\_ 印

# 同意書

平成 年 月 日

福島県立医科大学大学院医学研究科長 様

氏 名  
所 属  
電話番号 ( )  
現 住 所  
印

「 (論文題名) 」は、  
私との共同研究により行われましたが、氏が  
博士 (医学) の学位申請請求論文として提出することに異議ありません。

※この同意書は、共著者が作成すること。